

いつでも、どこでも、迅速 的確に対応する消防・救急 体制を目指して



浜松市消防長 那須田 育生

浜松市は、静岡県西部に位置し、東京、大阪の2大都市のほぼ中間にあたり、名古屋市へ約109km、静岡市へ約77kmの距離にあり、市域は東西約52km、南北約73km、総面積1,558.11km²と広大です。

地理的特徴として、南北を天竜川が縦断し遠州灘へと注ぎ、西端には浜名湖を臨み、地形は天竜川中流域の中山間地、扇状に広がる下流域の低地、河岸段丘の三方原台地、浜名湖沿岸の丘陵地で構成されています。

浜松市は豊富な資源を有しており、うなぎ、みかん、浜松餃子などの全国的な食資源、浜名湖をはじめとする観光資源、徳川家康公にまつわる歴史的資源があります。また、ユネスコ創造都市ネットワークの音楽分野にアジアで初めて加盟し、吹奏楽や伝統音楽の文化を積極的に発信する音楽環境など、世界に誇る強みや魅力を持っています。

浜松市の歴史は約1万8千年前にさかのぼり、本州最古の人類化石「浜北人」の人骨が発見されています。「浜松」という地名が正式に登場するのは室町時代で、1911年に市制施行の条件である人口3万5千人を超え、浜松市が誕生しました。その後、戦前戦後の飛躍的な工業の成長を経て、平成17年7月に12市町村の合併により新「浜松市」が誕生し、平成19年4月には政令指定都市へ移行しております。さらに令和6年1月には、人口減少や少子高齢化に伴う社会経済状況の変化や市民ニーズに対応するため、7区から3区への行政区再編を行っており、本年7月1日に合併20周年を迎え、市民の安全確保とサービス維持を成果と捉え、さらなる魅力向上と市民の愛着・誇りを育むまちづくりを目指しています。

浜松市を象徴する言葉「やらまいか」は、「やってみよう」「やってみようじゃないか」を意味し、新しいことに果敢にチャレンジする精神を表しております。この精神のもと、音楽、自動車産業、光技術産業など世界を代表する企業を輩出し、今なお成長を続けています。

浜松市消防局では、令和6年に最新のデジタル機器を現場活動や119番通報等に導入するなど、消防指令管制システムを更新しております。また、救急需要の増加に対応するため、日勤救急隊の365日運用を開始しました。そして、従来から進めてきた施策をさらに強化し、大規模な自然災害など『あらゆる災害』に対応するため、消防資機材の整備に一層努め、他の消防本部や関係機関との連携体制を強化するとともに、安全管理体制の充実強化を進めています。加えて、人材育成・確保の取り組みとして、若手職員からベテラン職員まで一丸となって、魅力ある職場環境づくりに取り組んでいます。

消防団員の加入促進としては、若年層の理解を深め、入団意欲の向上を図るため、大学生の消防団員を主人公としたアニメーション動画を制作し、SNS等で配信しました。さらに、学生広報隊が市内大学等の学園祭にブース出展し、心肺蘇生法や初期消火の体験コーナーを設けるなど、若年層への認知拡大を図り、消防団員の増加につながっております。

これからも、困難な状況を「やらまいか」の精神で乗り越え、市民の安全・安心のため、様々な消防需要に対して柔軟に対応し、いつでも、どこでも、迅速かつ的確に対応できる消防・救急体制を目指してまいります。